

官報報告

宗

第百九十九号

183

立業 大正十年九月九日  
決裁 大正 年 月 日

宗務總裁



内事務官



大臣

次官



從四位勳四等秋山恕卿特旨  
叙任ノ件

九

八

十八

十 九月六日 九月十八日  
帳付 九月九日 九月十八日  
官報 九月九日 九月十八日

(九)

宮内省

裏面白紙



從四位勳四等秋山恕卿特旨敘位ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十年九月十八日

内閣總理大臣原敬



内

閣

第 號

起 案 杏 十 年 九 月 七 日

裁 可 十 年 九 月 十 八 日

行 施

年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長



内閣書記官



從四位勳四等秋山恕卿、別紙内務大臣上奏、通功績顯著ナル者、候處目下病氣危篤、趣ニ付特旨叙位、件上奏相成然ルヘシ

内

閣

從四位勳四等秋山恕卿

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿

叙正四位

敘正四位

從四位勳四等秋山恕卿

右者明治二年大山藩録事拜命以來諸官ニ歷任シ十五年和歌山縣警務長ト爲リ尋イテ同縣及兵庫縣書記官福島山口ニ縣知事ニ任セラレ多年在職地方政治ニ盡瘁シ功勞尠カラス三十二年退官後專ラ公益事業ニ盡力ニ湊川改修竝兵庫運河開鑿事業ヲ

内閣

企劃ニ努力經營ニ克ク其ノ事業ヲ完成シ又神戸市立圖書館ノ建設ニ盡力ニ同市ノ事業ニ貢獻ニ或ハ鳴尾競馬俱樂部ノ會長ト爲リ馬正改良獎勵ヲ圖レル等公益ヲ爲シ盡シタル處尠カラズ特ニ湊川改修及運河開鑿事業ノ交通運輸若ハ治水上ニ大ナル利便ヲ與ヘタルハ世ニ齊ク認ムル處ニシテ其ノ功勞没スヘカラサルモノト認ム然ルニ目下病氣染免篤ニ陥レルニ付此際特ニ其ノ

功勞ヲ思召サレ 頭書ノ 通位一級進メラレ  
度 謹シ  
奏ス

大正十年九月十七日

内務大臣 床次竹二郎

内閣

内位第三三六號

案起

十年九月十七日

裁可

十年九月十八日

施行

年月日

内閣總理大臣

内閣書記官長



内閣書記官



從四位勳四等秋山恕卿ハ別紙内務大臣  
上奏ノ通功績顯著ノ者ニ候處目下病  
氣危篤ニ付特旨叙位ノ件上奏相成  
然ルハシ

從四位勳四等秋山恕卿

内

閣

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿

叙正四位

病氣危

内位第三三六號

案起 十年九月十七日

裁可 十年九月十八日

施行 年月日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

從四位勳四等秋山恕卿ハ別紙内務大臣  
上奏ノ通功績顯著ノ者ニ候處目下病  
氣危篤ニ付特旨叙位ノ件上奏相成  
然ルハシ

從四位勳四等秋山恕卿

内閣

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勳四等秋山恕卿

叙正四位

病氣危篤

188

従四位勳四等 秋山恕 卿

叙正四位

右、明治二年大山藩録事拜命以来諸官ニ歴任シ十五年和歌山縣警部長ト為リ尋テ同縣及兵庫縣書記官福島山口ニ縣知事ニ任セラレ、多年在職地方政治ニ盡瘁シ功勞尠カラス三十二年退官後専ラ公益事業ニ盡力シ湊川改修並兵庫運河開鑿事業ヲ企畫シ努力經營克ク其ノ事業ヲ完成シ又神戸市立圖書館、建設ニ盡力シ同

内務省

市ノ事業ニ貢献シ或ハ鳴尾競馬俱樂部ノ會長トナリ馬匹ノ改良獎勵ヲ圖レル等公益ノ為メ盡ス所尠カラス特ニ湊川改修及運河開鑿事業ノ交通運輸若クハ治水工ニ偉大ノ利便ヲ與ハタルハ世ノ齊シク認ムル所ニシテ其ノ功勞没スヘカラルモノト認ム然ルニ目下病氣危篤ニ臨レルニ付此際特ニ其ノ功勞ヲ思召サレ頭書ノ通位一級ヲ進ノサセラレ度謹テ奏ス

大正十年九月十七日

内務大臣 床次竹二郎





裏面白紙

190

内務省

(虫眼鏡)

大正十年九月十七日  
別紙 秋山 恕 卿 致 任 件

上奏書進達又

大正十年九月十七日

内務大臣 床次竹二郎



内閣總理大臣 原敬 殿

十九十八  
九一

立案大正十年九月十八日

決裁大正 年 月 日

宗秩寮官

宗秩寮官

### 案

從四位勲四等 秋山 恕 卿  
特旨ノ以テ位一級被進  
從四位勲四等 秋山 恕 卿  
叙正四位

宮内省

右之通本日 宣下相成候條此旨及傳達  
候位記立辞令<sup>進</sup>及回送候也  
大正十年九月十八日

宗秩寮 總裁  
内務大臣

裏面白紙

丙  
大正十年九月廿一日  
六九三

一 正位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

右位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

大正十年九月廿一日

宗秩寮總裁侯爵井上勝之助

由 此 左 右

宮 内 省